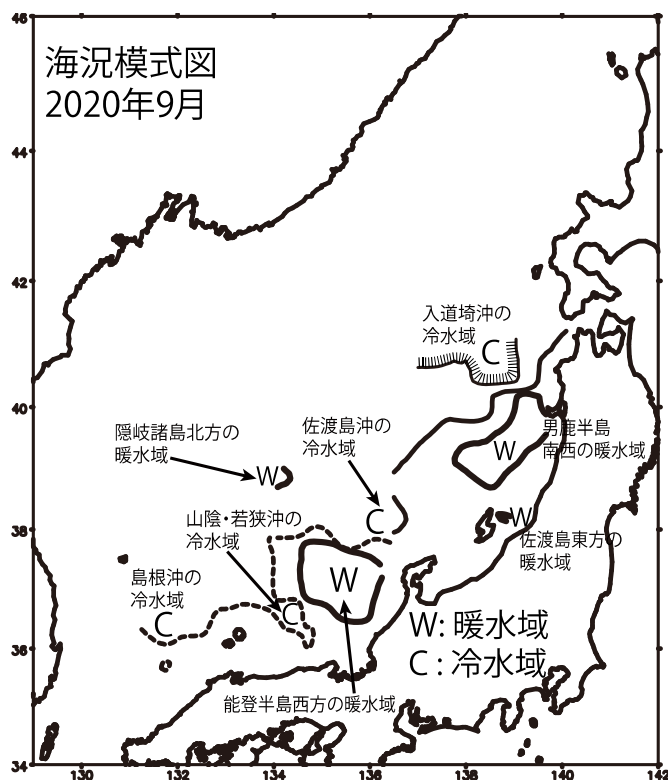


2020年度 第3回 日本海海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
 水産資源研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2020年10月中旬~12月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は日本海西部では“やや高め”、北部では“やや高め”で経過する



2020年10月中旬~12月の海況

- 隠岐諸島北方の暖水域は勢力を維持しつつ停滞する
- 能登半島西方の暖水域は北東に進み、能登半島北方に分布する
- 佐渡島東方の暖水域は北東に進み、男鹿半島南西に分布する
- 男鹿半島南西の暖水域は北東に進み、津軽半島沿岸に分布する
- 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さめ、接岸距離はやや離岸で経過する
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸で経過する
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並み、接岸状況はやや接岸で経過する
- 入道崎沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況はかなり離岸で経過する

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所
 担当：管理部門 永澤、後藤
 海洋環境部 渡邊、和川
 電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950
 当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2020年度 第3回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2020年10月中旬～12月）

- (1) 隠岐諸島北方の暖水域は勢力を維持しつつ停滞する。能登半島西方の暖水域は北東に進み、能登半島北方に分布する。佐渡島東方の暖水域は北東に進み、男鹿半島南西に分布する。男鹿半島南西の暖水域は北東に進み、津軽半島沿岸に分布する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さめ、接岸距離はやや離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並み、接岸状況はやや接岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況はかなり離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“やや高め”、北部では“やや高め”で経過する。

2. 経過（2020年6月～2020年8月）

- (1) 6月に能登半島西方に見られた暖水域は8月まで停滞。6月に富山湾で見られた暖水渦は北東に進んで8月に新潟上越沿岸に分布。6月に新潟上越沿岸に見られた暖水域は北東に進んで8月に佐渡島東岸に分布。6月に佐渡島北方に見られた暖水域は7月に拡大しつつ定在し、8月に北上して男鹿半島南西に分布。6月に青森蘆作崎沿岸にみられた暖水渦は8月に縮小しつつ定在。
- (2) 島根沖の冷水域は、6月は規模、接岸状況とも平年並み、7月はかなり小さく接岸状況は平年並み、8月はやや大きくやや接岸。山陰・若狭沖の冷水域は、6月はかなり小さく接岸状況は平年並み、7月、8月は規模は平年並みでやや接岸。佐渡島沖の冷水域は、6月やや小さくはなはだ離岸、7月はかなり小さくかなり離岸、8月はやや小さくやや離岸。入道埼沖の冷水域は、6月は規模、接岸状況とも平年並み、7月は規模は平年並みでやや離岸、8月はかなり小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
6月は、新潟～山形沿岸、北海道北部沿岸・西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、隠岐諸島南方、秋田西方、津軽海峡西方、北海道南部西方で“やや低め”～“かなり低め”、山口北方、隠岐諸島南東～丹後半島周辺で“やや低め”以外は“平年並み”～“やや高め”。7月は隠岐諸島北方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、若狭湾周辺、津軽海峡西方で“やや高め”～“かなり高め”、新潟～山形沿岸で“やや高め”以外は“平年並み”。8月は大和堆周辺、北海道北部西方で“やや高め”～“かなり高め”、隠岐諸島周辺～能登半島周辺で“やや低め”～“かなり低め”以外は“平年並み”～“やや低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、6月は日本海西部では“やや高め”、北部では“かなり高め”。

3. 現況（2020年9月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北方、能登半島西方、佐渡島東方、男鹿半島南西に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、かなり小さくやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、かなり小さくかなり離岸。佐渡島沖の冷水域は、やや小さく接岸状況は平年並み。入道埼沖の冷水域は、やや小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、隠岐諸島周辺～鳥取沿岸、新潟～山形沿岸～佐渡島北西で“かなり高め”～“はなはだ高め”、蘆作崎沿岸・西方で“かなり高め”、山口沿岸・北方で“やや低め”～“かなり低め”以外は“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“やや高め”、北部では“やや高め”。

(註) 引用符(” ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| ” はなはだ高め(低め) ” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| ” かなり高め(低め) ” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| ” やや高め(低め) ” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| ” 平年並み ” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産研究所	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所